

カジノを止める あなたと止める

講演会と今後の動きを考える会

【日時】2019年10月6日（日）18時半より（開場は18時）

【場所】港北公会堂（横浜市港北区大豆戸町26-1）

【ゲスト】

◆経済成長?? 幻想です!!

静岡大学 鳥畑与一 教授

国会での参考人質疑でも有名な、カジノ反対の急先鋒。
横浜市会・総務政策財政委員会にも参考人招致の予定。



◆ギャンブル依存症の深刻さ、知ってください!!

ことぶき診療所 越智祥太 医師

ギャンブル依存症患者を診療してきた経験などから、その深刻さを熟知し、横浜市へのカジノ誘致に反対する活動を続けている。



◆瀬上の住民投票運動に学ぶ

瀬上の住民投票運動グループの方に交渉中

所属／支持政党の枠を超えて、カジノ反対の皆様に幅広く参加を呼びかけます。

下記にご記入のうえ、お送りいただくか、当日お持ちください。

お名前
ご住所
電話番号

個人情報、厳重に管理し、第三者への提供は致しません。

問い合わせ／申し込み：呼びかけ人

横浜市議員（港北区） **立憲民主党**

大野トモイ

大倉山3-1-3-3E anatanokoe@tomoi.yokohama
TEL：045-298-8475 FAX：045-330-8178



カジノをめぐる横浜市会の直近の動き

- 8月22日 市長が記者会見し、カジノ誘致を表明。
- 8月23日 会派『立憲・国民フォーラム』20名が、市長に対し、「横浜へのカジノ誘致撤回を求める緊急要請」を行う。
- 9月2日 横浜市会第3回定例会、始まる。『IR（統合型リゾート）推進事業に係る補正予算案』が提出される。
- 9月3日 本会議初日。会派『立憲・国民フォーラム』20名を代表して質問に立った藤崎幸太郎議員は、市長が『白紙』から誘致に転じたことの責任を問い、市民の声を聴こうとしない理由を訊ね、今からでも遅くはないので市民に賛否を問い、誘致方針を見直すようにと迫った。市長は明確に答弁せず。
- 9月6日 本会議2日目。会派『立憲・国民フォーラム』20名を代表して質問に立った梶尾明議員は、IRのインフラ整備についての官民の分担が制度上明確になっていないと指摘。「収支見通しの曖昧な事業計画を決済できるのか」と糾したが、市長は曖昧な答弁を繰り返した。荻原隆宏議員の質問により、市がIR誘致の根拠として掲げてきた『横浜市の観光客の消費金額は低い』とするデータは、比較した国・他都市の調査とは算出方法が異なり、信頼性に疑義があることが判明。（たとえば、横浜市のデータは時期が観光のオフシーズンだった一方、比較対象とした国や他都市のものは年末年始や大型連休中だったり、消費額の捉え方も異なっていたりと、市の調査はあまりにも杜撰。）誘致の根拠が揺らいだ。誘致方針を見直すようにと迫るも、市長は応じず。
- 9月20日 本会議3日目。会派『立憲・国民フォーラム』20名・共産党・無所属のカジノ反対会派（神奈川ネットを含む）が『IR（統合型リゾート）推進事業に係る補正予算案』に反対したものの、自公は賛成。



カジノ反対の市民集会にて。8月22日 市役所前



カジノ反対の超党派女性集会にて。9月14日

大野トモイ
横浜市会議員（港北区） **立憲民主党**

anatanokoe@tomoi.yokohama
TEL: 045-298-8475 FAX: 045-330-8178